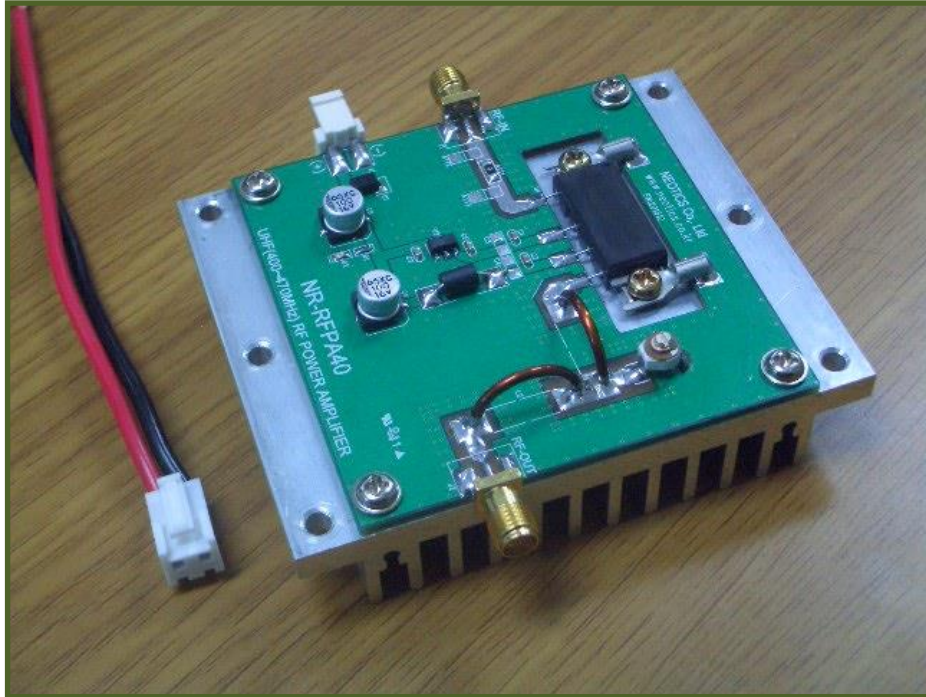


400-470MHz帯無線増幅機(最大7W)-送信機専用
(NR-RFPA40U Ver 7.3)



400-470MHz帯無線増幅機

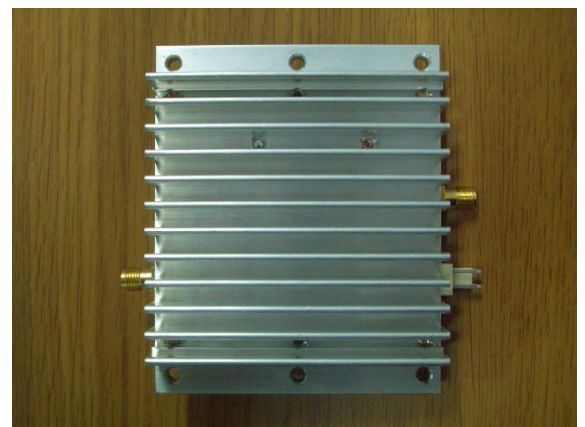
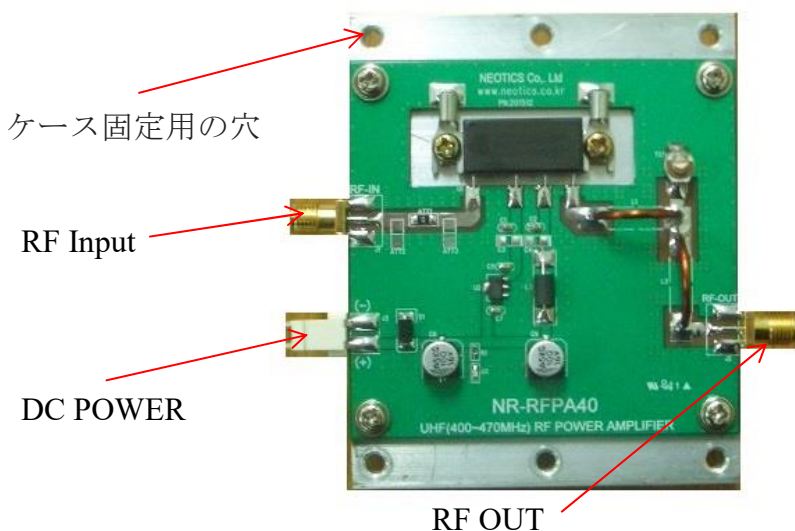
- 400-470MHz帯無線増幅機は最大7Wの高出力無線送信専用増幅器です。
- 微弱電波または小出力の送信機の出力で長距離通信が不可能な場合、増幅機を利用して、長距離通信が可能です。
(入力周波数と入力電力、電源電圧に応じて増幅度が異なります。)

- 用途と特徴 -

- 無線送信機用増幅機を使用することにより、長距離無線通信が可能です。
- 小電力送信機(Transmitter)に使用が可能です。
- 放熱板と放熱構造PCBを使用することで発熱の誤作動が少なくなります。
- 入力/出力に高周波特性の良いSMAコネクタを使用して信号の損失が少なくなります。
- 電源供給ラインにLEDを取り付けて電源の状態を知ることができます。

400-470MHz 帯無線増幅機の仕様

区 分	仕 様
使用電圧	DC 5V (DC 4~9V) (入力周波数と入力電力、入力電圧に応じて出力が異なります。)
消費電流	500mA ~ 2A 前/後 (入力周波数と入力電力、入力電圧に応じて消費電流が異なります。)
入力信号	50mW 前/後 (25mW~70mW) (入力周波数と入力電力、入力電圧に応じて出力が異なります。)
同調フィルタ	L/C Filter
入力/出力コネクタ	SMA F-Mail
サイズ	86mm X 70mm



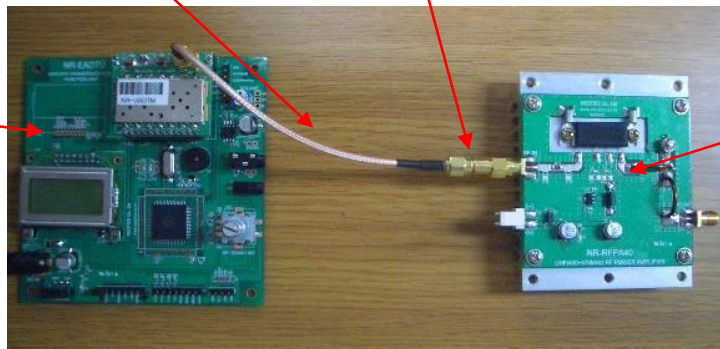
裏面 (ヒートシンク)

- 。 DC Power : 電源入力端子(+),(-)を接続します。
- 。 RF Input : 無線信号入力端子。
- 。 RF Output : 増幅された無線信号出力端子。

高出力無線機器との接続時に、信号減衰器の使用 例).

別売りのPN-CABLE-SMAP-SMAPケーブル 別売りの信号減衰器 (PN-ATTxxシリーズ)

トランシーバーの開発者
ユニット (NR-EADTU2)



NR-RFPA40U(V)
増幅器

- 。 増幅器の入力信号は、一般的に50mW 前/後入力する必要がありますので、入力された信号が高出力である場合には、適当容量の信号減衰器を使用して接続します。
(増幅器に過度の入力信号が加わると、不良または故障の原因になることができます。)
(PN-ATT01~PN-ATT30を選択して使用可能です。)

別売りのPN-ATTxxの仕様.

区 分	仕 様
ATTENUATION	-05dBm ±0.3 dBm
IMPEDANCE	50 ±2 Ω
V.S.W.R	Max 1.15
POWER	Max 1W.
FREQUENCY	DC ~ 3GHz
CONNECTOR	SMA-Male, SMA-Female
SIZE	21mm X 9mm

SMA-Male Connector



SMA-Female Connector



． 入力された信号の大きさに合わせて減衰器の容量を選定してください

Part Number	ATTENUATION	V.S.W.R	POWER
PN-ATT01	-1dBm ± 0.3 dBm	Max 1.1	Max 1W
PN-ATT02	-2 dBm ± 0.3 dBm	Max 1.1	Max 1W
PN-ATT03	-3 dBm ± 0.3 dBm	Max 1.1	Max 1W
PN-ATT04	-4 dBm ± 0.3 dBm	Max 1.1	Max 1W
PN-ATT05	-5 dBm ± 0.3 dBm	Max 1.1	Max 1W
PN-ATT06	-6 dBm ± 0.3 dBm	Max 1.1	Max 1W
PN-ATT07	-7 dBm ± 0.3 dBm	Max 1.1	Max 1W
PN-ATT08	-8 dBm ± 0.3 dBm	Max 1.1	Max 1W
PN-ATT09	-9 dBm ± 0.3 dBm	Max 1.1	Max 1W
PN-ATT10	-10 dBm ± 0.5 dBm	Max 1.15	Max 1W
PN-ATT15	-15 dBm ± 0.5 dBm	Max 1.15	Max 1W
PN-ATT20	-20 dBm ± 0.5 dBm	Max 1.15	Max 1W
PN-ATT30	-30 dBm ± 0.5 dBm	Max 1.15	Max 1W

(本製品は、高出力の無線通信製品として、次のような点に注意してください)

1. アンテナは必ず接続している状態で送信してください。
2. 電源はすべての接続状態が正常な状態で供給してください。
3. 送信になると高出力の電波により近接された制御回路と電源装置、その他の周辺機器に損傷を与え、誤動作や接続製品が破損することがあります。
アンテナやアンプは必ず制御回路と電源装置その他の周辺機器から離れた状態でテストしてください。
(制御装置と電源装置が近接された状態で使用時にはシールドやアンテナ延長ケーブルを活用して、アンテナからの高電力電波が直接影響を与えないようにしてください。)
4. 電源装置は電流容量が十分な電源を使用してください。
5. 電源装置は可能な限りアナログタイプの電源装置を推奨しており、スイッチング方式の電源装置を使用する場合には、ノイズの少ない電源装置を使用してください。
6. 入力電源(電圧)に応じて増幅度が異なりますので使用用途に合わせて電源(電圧)を入力してください。
7. 入力無線電力に基づいて送信電波の出力が変動されるので使用用途に合わせて入力してください。
8. 送信時間と入力電力は入力電圧に応じて増幅度が異なりまた、熱が発生する可能性があります。熱が発生した場合には製品の誤動作や破損の原因となりますのでファンや放熱ユニットを使用してください。
9. 本製品は高出力の製品として使用するためには、使用する国または関連機関の許可(認証)が必要な場合があります、完成品で製作/販売時には、必ず承認(認証)を確認してください。

***** 参照および注意(確認)事項 *****

- ・ ご使用の前に、取扱説明書の記載内容を十分に検討と確認した後、ご使用してください。
- ・ 本製品(部品)を他の機器と接続してご使用の場合、接続される各機器の特性を確認した後、ご使用してください。
- ・ 本製品(部品)は、使用環境やユーザーの使用方法や他の接続装置との接続状態に応じて、記載されたパフォーマンスと機能が異なる場合または誤動作や動作不能が発生することがあります。
- ・ 本製品(部品)が、無線(RF)送信製品の場合は、無線の出力強度を低出力(Low-Power)でテストの後、高出力による製品(部品)が破損または誤作動がないように遮蔽(シールド)またはアンテナ延長ケーブルなどで影響を受けないようにしてください。
- ・ 無線(RF)の送信/受信製品の場合、外部電源装置またはスイッチングアダプタその他 AC/DCコンバータなどの電源を使用する場合、電源装置からのノイズ音(試験)などが無線(RF)送信/受信機に混入されて送信/受信時のノイズが聞こえないようにしてください。
- ・ 本製品(部品)が、無線(RF)送信/受信製品の場合、無線通信のセキュリティ性がないため、通信のセキュリティに反する内容の通信を禁止し、機器相互間渾身の可能性があります。
- ・ 本製品(部品)のハードウェア、ソフトウェア、その他の関連機能は、性能向上のため予告なく変更することがあります。